

令和6年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立高等学校)

(A 4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	5名
事務局 (教職員)	6名

領域	学 校 自 己 評 価			年 度 評 価 (令 和 7 年 1 月 1 6 日 現 在)		
	年 度 目 標	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<p>【川口市立高等学校将来構想：第3期・飛躍期(1年目)】 ○川口市のリーディング校として、中高一貫校として「飛躍」するため、さらなる教育活動の充実が必要である。 ○各学科・コースの特色化を推し進め、SSH事業を通じた生徒の探究活動を充実させることが求められる。</p>	<p>「進学校・SSH指定校として飛躍する」 ①各学科・コースの教育活動の発展とより一層の特色化を打ち出す。 ②管理職と教職員が両輪となり、各部署の目標を連鎖させ、教育活動を飛躍させる。</p>	<p>①○理数科の特色を出すSSH事業の充実 ○スポーツ科学コースを中心とした文武両道の奨励 ○普通科特進クラスの進学指導の充実と志を高く持たせる徹底した指導 ○内進生の教育活動の充実 ②政策会議や企画委員会を通じた、管理職と各主任の定期的な情報交換</p>	<p>開校10年を間近に控え、さらに「飛躍」するために、SSH事業を学校づくりの中核とした教育活動を展開した。各年次・各分掌がそれぞれの特色を出し、各部署が連携した学校づくりを行った。 企画委員会を中心に、今後の学校の在り方等を議論し、「飛躍」に向けた検討を進めている。</p>	B	<p>開校10年に向け、安定した学校となるよう、SSH事業のさらなる発展と川口市をリードする進学校を目指した教育活動の展開が求められる。大きく「飛躍」するためにも、企画委員会が中心となり、開校10年・向こう10年に向けた基礎づくりに向けた議論を活発化させ、学校全体で推進していく体制を整えていく。</p>
教育課程	<p>【新教育課程の完成と附属中1期生の入学】 ○各学科・コース、中高一貫における新教育課程の円滑な実施とSSH(3年目)の中間報告に向け、教育活動に取り組む。 ○生徒の進路実現に向け、ICT活用やアクティブラーニングによる授業を学校全体で取組む。</p>	<p>「国公立大学進学に対応する教育課程の展開とSSH事業を実施する」 ③国公立大学の現役合格者60名以上を目指す。 ④生徒の進路実現に向け、授業の質を高め、学力向上につながる教育活動を展開する。</p>	<p>③○生徒の第1志望宣言を踏まえた、学習指導と進学指導の充実 ○始業前、放課後の自習環境の整備と文武両道に向けた学習サイクルの確立 ④観点別評価を活用した授業改善と放課後や長期休業中の補習の充実</p>	<p>国公立大学を第一志望とする3年次の生徒数は1104名(R5:112名)。(12月末現在)共通テストのフル受験率は29.8%(R5:25.8%) 各教科で授業研究を進め、学力向上を目指している。 夏季休業中の進学補講87講座実施、冬季休業中の進学補講34講座実施。</p>	B	<p>国公立大学を志望する生徒の進路実現と将来の選択幅拡大に向けた学びの充実を目指し、共通テストフル受験にチャレンジする生徒を増やしていく必要がある。また、本校生徒の実態に適した教育活動になっているかを絶えず検証しつつ、教育課程の見直しや学科・コースの枠を超えた授業展開、指導内容や指導方法の改善、年間行事計画の見直しを進めていく。</p>
開かれた学校づくり	<p>【県下有数の高倍率の学校】 ○学校案内を見直すとともに、本校の魅力・特色を発信する学校説明会の実施、近隣中学校への継続的な広報活動が必要である。 ○ホームページの内容充実と積極的な情報発信、公開授業の実施により、地域・保護者が本校を理解する機会を創出する。</p>	<p>「地域に開かれた学校づくりを行うとともに、中学校や関係者に積極的に広報する」 ⑤各学科・コースの魅力・特色を発信する学校案内、ホームページの充実を図る。 ⑥近隣中学校を中心に、塾関係者などとの情報交換を通じ、連携を図る。</p>	<p>⑤○各学科・コースの魅力・特色がわかりやすい学校案内の作成 ○学校説明会・見学会の内容充実と公開授業の実施 ○ホームページの内容充実 ⑥○市内中学校と近隣の市外中学校に対する積極的な広報活動 ○塾等主催の学校説明会への積極的な参加</p>	<p>学校案内を12ページに増やし、各学科・コースの魅力・特色を発信した。ホームページは学校の活動や部活動を中心に、587回更新(R5:494回)。 近隣中学校や塾主催説明会に25回参加し、本校を志望する中学生への広報と情報交換を行った。</p>	A	<p>他の学校との差別化を図り、多様な学び方ができる特色ある教育活動を中学生や地域に向けて継続的に発信していく。理数科の希望者数が減少傾向にあることから、対外的な広報活動の在り方を検討する。生徒が主体となる魅力発信の機会を設け、中学生が入学したいと感じる広報活動を展開する。</p>
教職員の資質向上	<p>【生徒の進路実現に向けた教材研究】 ○川口市独自の人材配置を活かした初任者研修・教職員研修の充実と教員相互の授業見学による授業力の向上が求められる。 ○大学との連携協定や研究機関等の協力を通じ、教職員の資質向上に取り組む必要がある。</p>	<p>「学校全体で授業第一主義を徹底する」 ⑦授業時数の確保に向け、学校行事を精査する。 ⑧探究的な学習を意識した授業を実践するため、指導方法を研究し、授業力を向上する。 ⑨関係機関の協力を仰ぎ、教職員の資質向上に向けた各種研修会を実施する。</p>	<p>⑦○45分授業を踏まえた、学校行事の見直し ○授業研究週間(年2回)の互見授業による指導方法の研究 ○授業力向上や進学指導に関する各種研修会への積極的な参加 ⑧探究活動の充実と発表会の実施 ⑨教職員の資質向上、授業力向上につながる研修会の実施</p>	<p>授業時数を確保するため、定期考査後の授業の在り方を見直し。学校行事については、引き続き精査していく。 各学科・コースの探究活動の発表会に向け、充実した内容になるよう指導を行っている。 市教委主催の研修会による資質向上と授業力向上に向けたICT研修会を2回実施。</p>	B	<p>授業時数の確保に向けた行事の精査を企画委員会を中心として継続的に検討していく。SSH事業(II期)を見据え、普通科における探究活動の充実に向け、研究を進めていく。 授業力向上に向けた、互見授業や授業公開などは継続して実施し、教職員の資質や授業力向上を目指していく。</p>
施設・設備等の管理	<p>【勉強・部活動に打ち込める施設・設備】 ○生徒の安全・安心な学校生活を保障し、日頃から防災対策や自転車事故防止に向けて取り組む。 ○附属中や定時制との施設の共用を工夫し、教育活動の充実を図ることが必要である。 ○授業内容の充実のため、ICTの活用を推進し、施設・設備を効率的に活用した教育活動を展開する。</p>	<p>「施設を有効活用するためとともに、学校生活及び登下校時の安全に配慮する」 ⑩登下校時の交通事故防止に向け、立哨指導や注意喚起に取り組む。 ⑪附属中と定時制と連絡を密にし、施設の有効活用を行う。 ⑫ICT環境を整備し、効率良く、かつ効果的に教育活動を展開する。</p>	<p>⑩○自転車利用者の交通ルール順守と交通マナーを向上させる生徒指導 ○防災への意識高揚と不審者・防犯対策の充実 ⑪附属中・定時制との連絡調整を定期的に行う ⑫授業や会議をはじめ、ICTを活用した教育活動の展開と環境整備</p>	<p>定期的な立哨指導のほか、HR担任からの注意喚起を実施。自転車乗車中の交通事故は減少傾向にある。 全定委員会や管理職の調整会議を定期的に行い、施設利用の重複を避けるよう調整している。 授業だけではなく、会議や諸連絡等においても、ICTを積極的に活用した教育活動を展開している。</p>	B	<p>自転車による交通事故報告が数件あり、生徒のマナーについて、地域の方から厳しく意見されることもあることから、継続した指導を行っている。 施設・設備については、開校から7年経過することから、修繕計画を立て、教育活動に支障をきたさぬよう予算の計画と執行を行っている。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和7年2月3日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・各学科、コースの教育活動の充実を。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導に対する保護者の期待が高い。 ・進路指導、授業と教員の負担のトレードオフが難しい。 ・入学当初の生徒の学力向上に向け、教員の意識を高める。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・子供の数が減っている中、選ばれる学校になることは大変なこと。 ・地域に密着した選ばれる学校になってほしい。 ・地元の企業についても目を向けてほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・附属中への出前授業において、高校の教諭による発見から感動につながる授業が見れた。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備等の点検・充実、ICT関連機器の更新は事務室と連携し、計画的に実施を。 ・大アリーナのエアコン設置、豪雨時の柔剣道場の浸水対策などをお願いしたい。 ・第二校地への移動時の安全確保を。 	